

関西文化研究

担当者 加藤 慶一郎／石上 敏

開講時期 後期 単 位 2

●講義の概要

- ・歴史的・地理的に「関西」を理解した上で、その文化的特色について比較地域的に分析する。
- ・古代以来の関西文化の展開をとらえた上で、文化による地域づくりの可能性を考察する。(担当：石上)
- ・関西から生まれた傑出した企業家の経営理念・哲学の形成過程を辿ることにより、関西経済に息づく文化的伝統に接近したい。本講義では関西にとどまらず、日本を代表する経営者として以下の3人を取り上げる。(担当：加藤)
 - ①阪急電鉄の創業者・小林一三 (大衆商法)
 - ②パナソニックの創業者・松下幸之助 (水道哲学)
 - ③京セラの創業者・稲盛和夫 (敬天愛人)

●講義の到達目標

関西における文化と経済の関わりについて、歴史的・地理的視野を含めて総合的知識を習得するとともに、今日における行政・企業・市民の社会的役割をふまえた地域の文化政策に関する調査・研究能力を養う。

●講義計画

- 第1回：「関西」の歴史 (1)「近畿」との違い
- 第2回：「関西」の歴史 (2)「上方」との違い
- 第3回：「関西」の地理 (1)「関東」との比較
- 第4回：「関西」の地理 (2) 拡大する「関西」
- 第5回：「関西文化」(1) アジアの中の「関西」
- 第6回：「関西文化」(2) 関西文化を学ぶ意義
- 第7回：「関西文化」(3) 関西文化の将来展望
- 第8回：「関西文化研究」前半のまとめ
- 第9回：日本の経営理念史・哲学史概説、打ち合わせ
- 第10回：松下幸之助の経営哲学①：形成
- 第11回：松下幸之助の経営哲学②：展開
- 第12回：松下幸之助の経営哲学③：継承
- 第13回：小林一三の経営哲学との比較
- 第14回：稲盛和夫の経営哲学との比較
- 第15回：履修者による研究報告

●成績評価基準と方法

授業に積極的に参加しているか (20%)、十分に予習して授業に臨んでいるか (20%)、授業の際に積極的に適切な発表を行っているか (20%)、講義内容に照らして適切なレポートが作成・提出できたか (40%)

●テキスト又は参考文献

〔石上〕

プリントを配布する。参考文献は講義中に指示する。

〔加藤〕

テキスト・資料：適宜配布する。

参考文献

- ・伊丹敬之『直感で発想 論理で検証 哲学で跳躍』東洋経済新報社、2020年
- ・小林一三『私の行き方』など
- ・松下幸之助『実践経営哲学』など
- ・稲盛和夫『稲盛和夫のガキの自叙伝』など
- ・原田伴彦・作道洋太郎編『関西の歴史と風土』山川出版社、1984年

●受講上の留意点

講義形式を中心に進めるが、課外講義も予定している。